

会長からのご挨拶

2022年6月の定時社員総会にて公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会会長に選任されました間山一典です。どうぞよろしくお願いいたします。

我々水コンサルタントは、水道、下水道の普及整備のために誕生しました。設計がコア技術であることはいまでも変わりませんが、時代の変化や社会のニーズに応じて、調査・計画など領域を広げてきました。官民連携（PPP）や広域化など、事業そのものへの関わりも増えてまいりました。

水コンサルタントの使命（パーパス）は、水システムを通じて地域・都市を豊かにすることです。協会の会員である水コンサルタントが、地域と連携して多種多様な社会的課題の解決に寄与すること。そして、その地域のニーズに耳を傾け、最適な上下水道システム・水環境を提案することで、よりよい地域・都市・社会の創造を支援することが、当協会の存在価値となっています。

当協会のビジョン（AWSCJ Vision2015-2025）では、「これからの上下水道サービスの担い手としての挑戦」をスローガンにしています。上下水道という大事なインフラを後世に健全な状態で引き継いでいくため、我々自らが主体的に関わっていくという、高い目標、使命を自らに課したものです。

当協会は2018年4月に一般社団法人から公益社団法人に移行しました。水道、下水道という重要な社会インフラを支える職業としての公益性が認められたと思っています。施設の老朽化に加え、災害の激甚化、経営基盤の脆弱化など、上下水道をとりまく問題は山積しています。しかし、前述のようにこれまで計画、設計を主な業務領域としてきた我々水コンサルタントは現在少しずつ業務領域を広げており、これからは総合的あるいは俯瞰的な視点で上下水道事業を支えていきたいと思っています。

また公益法人としての認知を高めると同時に、やりがいのある職業であることも広めたいと思っています。いうまでもなくコンサルタントは人材（財）が経営資産です。我々水コンサルタントが、魅力的な職業であること、働きやすい就職先であることを社会に認知してもらう必要があります。協会活動を通じて、人材の確保・育成、関係団体との連携強化、品質確保と生産性の向上などに取り組んでいきます。

水コンサルタントの健全な発展が、水インフラの持続につながると確信しております。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月
公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会
会長 間山一典